

Shokuhin News - June 2004 -

神戸大学 農学部 生物機能化学科 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-6553 Fax 078-803-5879

e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

博士課程研究経過発表会

博士後期過程の研究経過発表会が6月11日(金)に開催されました。清水一雄君は「ブラジル産プロポリス成分アルテピリンCの抗がん機能の解明」、山下貴稔君は「亜麻仁リグナンの生理機能と亜麻仁の食利用に関する研究」を発表。無事に終了しました。また、生物機能開発化学研究室に移られました福田伊津子さんも「食品成分によるダイオキシン毒性の抑制に関する研究」を発表されました。お疲れさま。

「学生実験II」が無事に終了

食品・栄養化学担当の学生実験II(5月18日-6月9日)が終了しました。今年度は中国茶6種類(緑茶、紅茶、青茶、黄茶、白茶、黒茶)の成分分析と機能性を比較・評価しました。技術補佐員の榊原啓之博士、リサーチアシスタントのダス・スウェィッシュ君(博士2年)やティーチングアシスタントの大井直美さん(修士2年)、後藤美保さん(修士2年)ら指導のもと、研究室に今年度から入った修士1年生の7人と学部4回生の3人も勉強のため参加。にぎやかな学生実験でした。

「博士後期課程の研究経過発表会」と「学生実験」の無事終了、また森敦美さん(修士2年)の就職決定を兼ねて6月11日(金)に「いけがみ」にて打ち上げ・お祝い会を開催しました。まあ、1ヶ月に1度はこのような親睦会があってもいいでしょう。

金沢先生、全米デビュー！

2ヶ月に渡って告知させて頂きました通り、金沢先生がNHKの番組に出演されました。皆さん、ご覧になられましたでしょうか？実は6月10日夕方6時(アメリカ東部標準時)に

は、この放送がアメリカのテレビ番組「TV Japan」内でも放送されたようです。ついに念願(?)のアメリカデビュー。おめでとうございます。

後藤美保バンコク上陸！

後藤美保さん(修士2年)が国際学会に参加するためタイ・バンコクへ上陸！激動の4日間(?)、その感動を語ります！

タイはちょうど雨季に入った頃。空港に着いた途端、息苦しいほどの湿気と熱気に襲われながら、学会会場&宿泊先のホテルへ。ホテル周辺の道路は車であふれ、信号はほぼ無いに等しいような状態でしたが、無事に3泊4日タイを満喫してきました。1日目はポスターの準備を終えて、冷房のききすぎた電車で市内のレストランへ。待望のタイカレーとマンゴを食べ(料理は極端に辛いのか甘いのかどちらかです)、タクシーの運転手さんおすすめのゲイバーに寄ることなく帰宅。2日目は会場でタイの学生さんと筆記を交えなんとか英語でやりとりをし、夜はホテルのバーでお酒を堪能(タイはシンハビールです)。3日目は土砂降りの大雨のなかトムヤンクンを食べに(鶏とココナッツミルクの入ったトムカーカイも絶品)。深夜12時に先生方と合流し、なぜかフットマッサージへ(痛くなくて気持ちいいです)。とうとう最終日。学会で知り合ったタイの学生さんに研究室を案内してもらい、エメラルドブッタのいる寺院でお祈りをすませた後(願い事を何でもきいてくれるそうです)、別れを惜しみながら帰途につきました。知り合ったばかりなのに丸一日つぶして付き合ってくれました。タイの人は皆親しみやすく、冗談も上手です(また行きたいなあ)。日本からわずか6時間(しかも時差2時間！)、マンゴスチン・ライチ・ドリア etc.が旬なこの季節、タイ旅行お勧めです。

論文・学会報告

学術論文)

● Kazuo Shimizu, Hitoshi Ashida, Yukinaga Matsuura and Kazuki Kanazawa. Antioxidative bioavailability of artemisinin C in Brazilian propolis. *Arch. Biochem. Biophys.*, **424**(2), 181-188 (2004)

● Itsuko Fukuda, Iwao Sakane, Yoshiyuki Yabushita, Rie Kodoi, Shin Nishiumi, Takami Kakuda, Shin-ichi Sawamura, Kazuki Kanazawa, and Hitoshi Ashida. Pigments in Green Tea Leaves (*Camellia sinensis*) Suppress Transformation of the Aryl Hydrocarbon Receptor Induced by Dioxin. *J. Agric. Food Chem.*, **52**(9), 2499-2506 (2004)

● Takashi Hashimoto, Zhiwei He, Wei-Ya Ma, Patricia C. Schmid, Ann M. Bode, Chung S. Yang, and Zigang Dong. Caffeine inhibits cell proliferation by G₀/G₁ phase arrest in JB6 cells. *Cancer Res.*, **64**(9), 3344-3349 (2004)

学会発表)

● Miho Goto, Satoshi Nakagawa, Hitoshi Ashida, Kazuki Kanazawa, and Roumiana Tsenkova. Evaluation of oxidative stress with near-infrared spectroscopy. Japan-Thailand Joint Symposium on Nondestructive Evaluation Technology (Bangkok, Thailand) 18-21, May, 2004, Proceedings p234-p235.

Events

ソフトボール大会

旧農芸化学科のソフトボール大会が6月26日(土)午前10時から発達科学部グラウンドで行われます。今年は生物機能開発化学との合同チームになります。参加していただけるOB・OGの方は、shoku@kobe-u.ac.jpまでご連絡下さい。

また、表彰式等の後で二次会を予定していますので、二次会からの参加也大歓迎です。あわせてご連絡お待ちしております。

小雨時の競技に関しては当日の朝9時以降に修士2年の後藤美保まで問い合わせてください。電話番号は 090-9625-3101、いたずら電話はしないこと！順延の場合は7月4日になりますが、7月4日も雨天のときは中止になります。

今月の喜怒哀楽

今月から始まりました「今月の喜怒哀楽」。きまなコラムを募集し、掲載させていただきます。今月は青木由葵子さん(自称、現役 OG。現在、生物機能開発化学・修士2年)の「コンタミブーム」です。

「コンタミブーム」

6月11日の午前、私の子供である菅江君(開発研究室、B4)から、L1コンタミの知らせを受けた。私は、「技術的ミスです。」と言いきった。しかし翌日、自分の細胞の顔を見た瞬間、再び「技術的ミス」の言葉が頭をよぎった。明らかなるコンタミである。この私にミスなどありえない！などと思いながら、原因究明を行った。その結果、6月9日のオスバンはただの水だった、という事実が発覚。私がこの細胞を培養したのは6月9日。なるほど、そうか。納得したところで、コンタミはコンタミ。ミスはミス。ということで、新たなる実験計画の立て直し(芦田先生ごめんなさい！)と、コンタミのアフターケアをしなければ。皆さんも、コンタミには気をつけて下さい。なお、詳しい話が聞きたい方は青木(開発研究室、M2)まで。



編集後記

博士課程の学生も一歩前進。学生実験は私や研究室の学生にとってすばらしい勉強の機会になったと思います。まあ、こんな感じで研究室もボチボチ成長しているんだなーといったことを感じる今日この頃です。また、今月から新企画「今月の喜怒哀楽」が始まりましたが、さらに皆さんからの新企画案などをお待ちしております。(橋本堂史:01 年度博)

